

●昆虫観察会 7月8日(土)開催される

この日は梅雨の真ん中で天気予報は午後から雨が降るとのことで、スタッフの皆さんは大変気を使いました。基本的には少雨決行としていました。当日の朝からは曇り空で午前中は大丈夫となりました。里山の会はこの梅雨の取組でたびたび中止せざるを得なかったのです。特に炭窯からの炭の取り出し時期には良く雨に見舞われ延期になりました。それで炭焼き窯に屋根設置を作り上げ、その経験から里山農園にも雨対策として大屋根の設置を実現することになりました。二つの屋根づくりには大きな予算がなくすべて原材料を買ってきて手作りで作り上げました。それができてから必要な物品備品の置き場所(倉庫：会議机や丸椅子、七輪)となり、随分助かることになりました。今回もこれがなければ、とても少雨決行とはならなかったことだと思います。



さて今年の子ども昆虫観察会の参加申し込みは6家族18名の申込みでした。スタッフを入れて26名の取組みになりました。集まってくれた子ども達はいずれも昆虫大好きな仲間でした。子ども達はそれぞれ虫かごを持ってきてくれていましたが、中には懐中電灯やピンセットを用意してきておられました。木の隙間や穴の中を照明して昆虫を探し出すそうです。まさに大人顔負けの準備をしてきてくれていました。これまでは木の幹を足で振動させると昆虫が時々落ちてくることを知っている子どもさんは、足で幹を振動させていました。特にヤナギの幹を振動させるとバラバラとクワガタやカナブンが落ちてきて、参加者一同の大きな驚きを誘いました。これまではこのような現象はあまり見かけたことがありませんでした。

今年も昆虫観察のお世話をされてきた金田さんは、期待して参加してくる皆さんに、何も発見できなくては申し訳ないとのことから顧問の桜谷先生の助言で苦労しながら、毎年トラップに取り組んで下さってきました。昨年からクワガタが数十匹も捕獲できるようになり、以前と比較すると思わぬ成果になってきています。どうしてこんなに多くの捕獲ができるようになってきたのでしょうか。

2023年7月8日の確認した名前を記録しておきます

【生き物】ノコギリクワガタ ミヤマクワガタ ヒラタクワガタ シオカラトンボ ベニスズメ セスジスズメ クロコノマ ウラナミジャノメ カナブン ウラギンシジミ トノサマガエル アブ スズメガの仲間 ドロバチの仲間 ハグロトンボ イチモンジセセリ タマムシ スズメガ(さなぎ 抜け殻) アワフキムシ オオカマキリ(幼虫2匹)

【植物】ノイバラ 野イチゴ キツネノボタン ネズミサシ ネジバナ

頂きました感想文から

今回は観察会に参加して、様々なものを見つけ、捕獲などをしました

個人的に印象に残ったのがベニスズメです。トラップの中にいたのでじっくりは観察できませんが、鮮やかな赤色の体で、今も脳裏にやきついていきます。また驚いたことは、木をゆさぶると大量のクワガタたちが降ってきて、子どもたちは喜んでいましたが少しかわいそうでした。

それと同時に、この景色はとても大切なものだと感じました。

都市化が進み自然を知らぬまま育ってしまう人が多い今の時代、この場所のように自然と間近に触れ合えて、体

感できる場所がもっと必要だなと感じました。

「作られた自然」は沢山ありますが、この場所のような「ありのままの自然」は中々ないので、子供達にはいい刺激となったのではないかと思います
改めて今回はありがとうございました。

●夜の生き物調べ 7月22日(土)

里山農園にて、夜に集まってくる生き物を調べる機会を作れないかと提案があり、教育棟の大きな屋根が作られた時から、昆虫などが集まってくるブラックライトを用意し、その電源や大きな白布を用意して集まってくる昆虫を調べました。夜にこうした取り組みを実施できるのはやはり教育棟があって実現できる取り組みです。昆虫マニアの皆さんにはぜひ一度お越しいただきたい取り組みです。この日はご指導いただいたきた桜谷保之(前近畿大学教授・本会顧問)先生が名古屋からお越しいただけることになっています。充実した取り組みになると思われます。

●竹ペン製作工程説明会 7月18日(火) 午前10:00から

2年前から工夫してきた竹のサインペンの製作に必要な製作工具がそれなりに、一通り整うことができました。まだまだ未完成ですが、ご参加いただいた皆さんから改善点の提案をいただき改良してゆきたいと思っています。未熟なものがご意見を賜りたく存じます。場所は里山の会事務所です。

夜の昆虫観察会 参加者募集
7月22日(土)

昆虫は生態環境が水の中、水辺、草むら、森、湿地と多岐で、動物界の過半数の種を占めています。それだけ昆虫は環境に適応し多様に進化してきたと言えるでしょう。暮るまで言えば、昼間に活動するものもあれば、夜間に活動する昆虫もいます。なぜ夜に活動するのでしょうか。夜に活動するメトリッドは例でしょうか。今後は、夜間、ライトトラップ(青色の光)に集まる昆虫を観察することになります。どんな昆虫がやってくるのか楽しみです。みなさんの参加をお待ちしています。

集合 17時00分
場所 里山農園 里山農園 菅野寺 水取池 菅野寺小学校から南400m
指導 桜谷保之 元近畿大学教授 里山の会顧問
担当 金田徹 里山の会昆虫部部長 野村治 里山の会理事
観覧 長崎 長ズボン 長靴 (運動靴ではなく長靴着用)
持ち物 お茶 夕食 ライト 網 ケース等
参加費 無料
参加申し込み 堺から 事前の申し込み 住所 氏名 年齢学年 電話番号 15歳まで
雨天の場合 定観になれば中止 少雨開催の方向
連絡先(問い合わせ) 0774-64-4183
プログラム
17:00 開会挨拶 緑注意 自己紹介
17:10 講師紹介 挨拶
17:20 里山農園の観察開始 里山作近知東
18:30 ライトトラップ開始
20:15 まとめ 交流
20:30 解散

主催 特定非営利活動法人 NPO やましろ里山の会
住所 京田辺市田辺深田 15 電話 0774-64-4183 (FAX)
住所 京都府京田辺市田辺深田 15 0774-64-4183



●木津川左岸 通称菱田浜の樹木調査を実施 金田徹・太田敏之 7月7日

以前は不法占拠して農地として利用されていたところを取り除かれて木津川の中の小川に大量のごみの山が2年がかりで除去された隣接地と、マウンテンバイクの試乗(練習場)場として利用されていた砂州であったところに、直径1m以上のクヌギが30本以上の生育が確認されていました。ゴミが除去されて数年間ほとんど人が立ち入らなくなっていて放置されていました。ここは昆虫の生育場として最適な条件があるのではないかと調査してみると絵にかいたような昆虫の天国でした。ここは以前整地されて以後国交省のビオトープとしての看板がありました。

●9月2日に開催予定の親子講演会の案内チラシが本日京田辺市内の各小学校に4500枚が配布されました。先生は、南洋のボルネオで生き物の研究をされていました。そこでの生き物のお話を分かりやすくして下さるようお願いしています。また楽しい工作やゲームを準備しています。一分間は回り続けるコマまわしやゲームを親子で楽しみましょう。

いきものはいろいろ わったいりん 熱帯雨林から考える
9月2日(土)13:00~16:30 入場12:00~

お話 **ゆもと黄和さん** (日本生態学会前会長 京都大学名誉教授)
生き物がいばん多く 多様性にとんでる熱帯雨林を研究してこられた
ゆもとさんの話をきいてみませんか きくだけで ワクワクしますよ
子どもも参加 熱帯雨林をぶつタバガキの種づくり(モデル) ぼれぼれらんの歌 こどもの発食会(3本) コマ回し
参加申し込み やましろ里山の会 HP より 参加費 無料
申込時に 質問もおよそください
子ども・大人 合わせて 300名 (先着順)
場所 京田辺市中部市民センター せせらぎ (京田辺市草内深田 22-2) 駐車場 せせらぎ はるか D0m (HPで確認)
主催 やましろ里山の会 共催 ぼれぼれらんど 後援 京田辺市教育委員会

ゆもとさんの紹介
(生命誌研究館にて対談)
南面さんの Animal ART をメインホールに展示します
ルールでも展示された動物作品紹介
南面さんの解説もあります
世界最大の花 ラフレシア
フタバガキの種 ふうふうしてつくとばします
両手ではさんで エイッ! コマ回しもやってみよう